



国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料

平成26年6月4日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会
岡山県政記者会、広島県政記者クラブ、山口県政記者会
山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

しまねけん いずもしひらたちょう もめんかいどう

島根県出雲市平田町「木綿街道振興会」

が国土交通大臣賞を受賞！

～中国地方から2年連続受賞！～

平成25年度(第9回)住まいのまちなみコンクールにおいて、島根県出雲市平田町「木綿街道振興会」が国土交通大臣賞を受賞しました。国土交通大臣賞は、**中国地方から2年連続の受賞**です。

※平成24年度(第8回)は岡山県小田郡矢掛町「備中矢掛宿の街並みをよくする会」が受賞

なお、表彰式は6月16日(月)13時30分より「すまい・るホール」(東京都文京区、住宅金融支援機構内)で開催される「まちづくりと景観を考える全国大会」において行われます。

※詳細は別紙のとおりです。

<問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231(代表):(平日・昼間)

建政部 都市・住宅整備課長

しま むら やす あき
島 村 泰 彰 (内線6161)

【担当】建政部 都市・住宅整備課課長補佐

おお ぐに やす じ
大 国 安 次 (内線6182)

【広報担当窓口】

広報広聴対策官

さか もと しげ ゆき
坂 本 繁 幸 (内線2117)

企画部 環境調整官

た お かず なり
田 尾 和 也 (内線3114)

第9回住まいのまちなみコンクール

1. 趣旨

身近な住環境は地域の方々によって維持管理され、安全、清掃、緑化、まちなみなどが保たれています。このようなコミュニティ活動が活性化していることは喜ばしいことですが、一方では敷地の細分化による密集化の進行、緑の減少など環境の悪化も見受けられます。今後、ますます住民や住民組織による維持管理活動の進展が望まれています。このような状況を踏まえ、維持管理活動に実績を挙げている住民組織をまちづくりのモデルとして表彰し、支援するものです。

2. 主催・後援

[主 催]

まちづくり月間全国的行事実行委員会、(一財)住宅生産振興財団、
(一社)住まい・まちづくり担い手支援機構

[後 援]

国土交通省、独立行政法人住宅金融支援機構、独立行政法人都市再生機構、(一社)住宅生産団体連合会、(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、(一財)ハウジングアンドコミュニティ財団

3. 事業実施経緯

[応募期間]

平成25年5月1日(水)～平成25年8月31日(土)

[審 査]

審査委員会(委員長 藤本昌也氏(建築家/公益社団法人日本建築士会連合会 名誉会長))において審査

第1回審査委員会 平成25年10月2日(木)

第2回審査委員会 平成25年12月19日(金)

[審査委員](五十音順/敬称略)

委員長 藤本昌也(建築家/公益社団法人日本建築士会連合会 名誉会長)

委 員 上山良子(ランドスケープアーキテクト/長岡造形大学 名誉教授・学長)

大月敏雄(東京大学 准教授)

橋本公博(国土交通省大臣官房審議官)

望月明彦(国土交通省大臣官房技術審議官)

森まゆみ(作家・編集者)

森野美徳(都市ジャーナリスト)

[入選発表]

平成26年1月

[表 彰]

平成26年6月16日(月)

「まちづくりと景観を考える全国大会」において国土交通大臣賞表彰

※別紙2参照

4. 審査結果

国土交通大臣賞・・・1 団体

○ 木綿街道振興会（木綿街道地区／島根県出雲市）

住まいのまちなみ賞・・・4 団体

- 旭ヶ丘自治会（旭ヶ丘地区／茨城県筑西市）
- いわき市中央台鹿島三区自治会（いわき市中央台鹿島三区自治会地区／福島県いわき市）
- 七日町通りまちなみ協議会（七日町通り地区／福島県会津若松市）
- フィオーレ喜連川管理組合（フィオーレ喜連川地区／栃木県さくら市）

国土交通大臣賞受賞

木綿街道振興会

（木綿街道地区／島根県出雲市）

木綿街道は、木綿の集散地として繁栄した地域です。かつて舟運が盛んであり、通りと運河をつなぐ小路・かけ出し（船着場）とともに、「切妻妻入り塗り家造り」の古い商家跡が建ち並び、歴史的景観を形成しています。地域特性を冷静に理解し歴史に誇りを持ちながら、地域住民みんなでまちづくりに取り組んでいる姿勢が評価されました。公的助成を受けながら3年間で17戸のファサード（建築物正面）の改修をしたほか、道路沿いにベンチをしつらえたり、季節の花々を植えるなど、修景にも日常的に細やかな心配りが見られます。継続的な取り組みにより生活の質を上げ、歴史や伝統を生かした修復・再生によって、次世代にも住み継がれる魅力に富んでいます。



(参考) まちづくりと景観を考える全国大会

○日 時 平成26年6月16日(月)

○場 所 「すまい・るホール」(東京都文京区 住宅金融支援機構内)

○主 催 まちづくり月間全国的行事実行委員会
「都市景観の日」実行委員会

○後 援 国土交通省

○大会日程

12:30～ 開 場

13:30～ 開 会

主催者代表挨拶

来賓挨拶 国土交通省

13:45～ 表彰状授与式

まちづくり功労者国土交通大臣表彰

まちづくり法人国土交通大臣表彰

まちづくり月間関連4行事国土交通大臣表彰

・まち交大賞

・まちづくり標語懸賞募集

・住まいのまちなみコンクール

・まちの活性化・都市デザイン競技

都市景観大賞

14:30～ 代表地区事例発表(2地区 40分)

・住まいのまちなみコンクール 国土交通大臣賞

木綿街道振興会(島根県出雲市)

・都市景観大賞(都市空間部門) 国土交通大臣賞

日向市駅周辺地区(宮崎県日向市)

15:10～ 特別講演(50分)

「魅力ある都市景観を生む条件とは」

法政大学デザイン工学部 教授 陣内 秀信 氏

16:00～ 閉 会